

総務委員会委員協議会記録

1 会議の日時	令和2年 1月24日	開会 午前 9時57分 閉会 午前 11時 7分
2 会議の場所	総務委員会室	
3 出席者	委員	委員長 長屋 光 征 副委員長 恩 田 佳 幸 猫 田 孝 森 正 弘 高 木 貴 行 加 藤 大 博 森 治 久 小 川 祐 輝
	執行部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	総務課長 森 浩一 議事調査課長 籠橋 智基 係長 高口 好美 主事 野村 康太	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 働き方改革につながるICTを活用した業務の効率化について 2 その他	

6 議事録（要点筆記）

○長屋光征委員長

ただいまから総務委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るため開催したものである。議題は、お手元に配付しました「次第」のとおりである。

なお、執行部については、今回の議題を所管する部局を中心に出席いただいているので、あらかじめ、了承願う。それでは「働き方改革につながるICTを活用した業務の効率化について」を議題とし、執行部の説明を求める。

（執行部挨拶 横山総務部長）

（執行部説明 大野人事課長）

（執行部説明 小野情報企画課長）

（執行部説明 布施行政管理課長）

○長屋光征委員長

ありがとうございました。「モバイルワーク用パソコン等の導入」の説明の中で、資料にもあったが、昨年の台風19号に関する長野県への災害対応支援において、派遣職員がモバイルパソコンを使用したとのことなので、実際に派遣された職員からその様子などを説明いただきたい。

（執行部説明 三宅議会事務局総務課管理調整監）

○長屋光征委員長

ありがとうございました。「働き方改革につながるICTを活用した業務の効率化について」と題し、サテライトオフィスの設置、モバイルワーク用パソコンの導入、ペーパーレス化の推進についてそれぞれ説明いただいたが、説明に対し、質疑はないか。

○小川祐輝委員

どのくらいのサイズのタブレットを使用しているのか。

○布施行政管理課長

契約審査会ではB5紙サイズのものを使用している。

○小川祐輝委員

画面サイズをA4程度にするとか、書き込みができるものにするといった点を改善するだけでもタブレットの扱いづらさを解決できると思う。どういうことができるようになるかを考えて推進していただくと職員に使いやすさが伝わると思う。

○加藤大博委員

サテライトオフィスは、どのくらいの需要を想定してこの利用可能人数としているのか。

○大野人事課長

導入済の他県の利用状況を確認したところ、年間400回あるいは250回であった。

3箇所それぞれ1日1回程度使用していただき、年間750回から800回程度使用してもらうことを最終的な目標として考えている。他県の状況を見ると、勤務と出張使用割合は、出張の割合が9割程

度である。出張の場合は3、4人が重なることも想定されるため、スペースとの兼ね合いで県庁舎を4人、それ以外（西濃・可茂）を3人とした。

○加藤大博委員

事前申込をして利用することになるのか。

○大野人事課長

前日までにRENTAIパソコンで予約をし、所属長の承認を得た上で、利用日に鍵を借りて利用するという運用を考えている。

○加藤大博委員

通勤時間の短縮のために利用するケースは、どういう人を想定していて、どのような手続を行うのか。

○大野人事課長

想定としては、例えば美濃加茂市在住で県庁舎勤務というように、通勤経路上に近い庁舎で勤務するような人を想定している。県庁舎勤務者で西濃地域から通っている職員が約250人、中濃地域から通っている職員が約120人いる。今回の設置場所は県庁舎勤務者の多いエリアとした。手続きについては先ほど申し上げたとおり、前日までに所属長に申請し、業務開始時と終了時に所属へ報告する運用を考えている。他県の状況を踏まえ、利用を促進する一方で、ルールを厳格にすると利用が進まないという声があったので、管理職の意識改革を含め、これからPRしていきたい。

○加藤大博委員

現実的に県庁舎に来なくてもできる仕事はどのくらいあるのか。

○大野人事課長

他県への聞き取りによると、会議資料の作成、議事録の作成、アンケートの集計、照会回答の取りまとめ、イベントの企画など多くの業務があるという印象である。こうした事例を紹介しながら利用を進めていきたい。

○加藤大博委員

こういった働き方改革の取組みを進める一方で、そもそもの県庁舎の在り方や業務の整理が重要となるが、そのような議論の兆候は職場の中にあるのか。つまり、単にICTを使って電子化、モバイルパソコンを使って外で仕事をすればいいというものではなく、職員の絶対数が減っていく中で仕事の整理というものが進められているのか。

○横山総務部長

現時点は、実績を積み重ねていこうという段階。進めていく中で、業務の切り出しも含め効率化を図っていきたい。

○高木貴行委員

サテライトオフィスのパソコンで自分のIDとパスワードを入れると、本庁で使っているパソコンと同様のデータで仕事ができるのか。

○大野人事課長

そのとおり。

○高木貴行委員

会計年度任用職員も使えるのか。

○大野人事課長

現時点では、一般職員だけを想定している。

○高木貴行委員

会議資料やアンケート集計はペーパー資料を見ながら作るものも多く、持ち出してはいけない資料の持ち出しなどもあり得ると考えるが、そのあたりの運用ルールはどうか。

○大野人事課長

他県の事例を聞くと、やはり資料の持ち出しはあると聞いている。事前に持ち出す資料も含めて所属長の許可を得る、という運用をしている県もあり、そのような運用を考えている。

○高木貴行委員

資料の持ち出しや返却の確認など、そこでまた手間がかかるが、本当に効率的になるのか。また、会議資料の作成やアンケートの集計は一般職員が行う仕事ではないのではないか。また、約8時間そこにずっと座って仕事ができるのか。

○大野人事課長

概ねは出張時の利用になると思うが、一方で働き方改革の取組みとして、サテライトオフィスで1日勤務するという取組みをスタートさせたいと考えている。仕事の中身や運用ルールをあまり厳格にすると利用が進まなくなり、一方で情報管理や労務管理もしっかりとやっていかなければならないため、スタートしてから随時検証して改善していきたい。

○高木貴行委員

働き方改革の先にあるのは県民へのサービスであり、もっと現場に出ていくことが本来の姿であって、サテライトオフィスにずっといることが仕事の効率化、というのは着眼点が違うのではないかと。出張もSkypeを使えば済むものもあるだろうし、そういうことも検討してほしい。他県の取組みに追随するのではなく、そこで課題があれば、もう一步踏み出してほしかった。

○長屋光征委員長

各委員からも意見が出たが、色んな議論があってしかるべきであり、また他県より一步踏み込んでやっていくのも大事だと考える。働き方改革にならないだろうという意見もあると思うが、非効率な業務の是正という面もある。来年度に向けて改善すべきところは改善しながら、取り組んでいただきたい。それでは、質疑もつきたようなので、これをもって「働き方改革につながるICTを活用した業務の効率化について」に関する質疑を終了する。次にその他報告として執行部より報告がある。

(執行部報告 高見防災課地域防災支援監兼防災対策監)

(執行部報告 海蔵防災課防災情報管理監)

(執行部報告 宮前危機管理政策課山岳遭難・火山対策室長)

○長屋光征委員長

ただいまの報告に対して、意見はあるか。

○長屋光征委員長

もし本県が被災した場合に、今回の経験は必ず役に立つと思うので、全庁的に情報共有をお願いしたい。

○加藤大博委員

応援派遣する側から見た考慮すべき課題の記載があるが、岐阜県が他県からの応援を受け入れる際の課題として何か気づくことはあったか。

○岩田防災課長

今後、応援を受け入れる立場になった時のことを検討していきたい。

○長屋光征委員長

被災状況にもよると思うが、他県から応援に来てもらった時の受入れ体制を検討いただきたい。

○高木貴行委員

長野県では、被災ごみの処理や他県からの受入れ体制の整備、災害対策本部の設置などの課題があったと思う。今回派遣された方々が、派遣されたときに感じたこと、こういうことが必要だったと思うことを基に、岐阜県で災害が発生した際のやるべきリストをまとめておく必要があると思うが、その作業を行う予定はあるか。

○渡辺危機管理政策課長

職員派遣とともに台風第15号及び第19号について検証を実施した。派遣報告や検証結果を踏まえ、今後の対応方針としてとりまとめ、次期岐阜県強靱化計画に反映し、先日推進本部員会議において推進方針が確認された。県強靱化計画は各分野における個別計画の指針となるものであり、具体的な施策を全庁的に進めていく。

○高木貴行委員

要望として1点。被災者支援ガイドブックについて、国の支援内容を基に県が作成すると思うが、国の施策は毎年変わっていく。支援の資料やガイドブック、国の施策と照らし合わせ、適宜更新し、いざという時にすぐに使える状態にしておいてもらいたい。

○長屋光征委員長

それでは、意見も尽きたので、その他報告については以上で終了する。以上で、議題については終了したが、何か意見はあるか。

○長屋光征委員長

決算特別委員会での主な意見として委員長から報告された「パブリックコメントについて、計画等の形が決まる前に自由な意見を募集すること」及び「消防団や水防団を応援する事業について、事業目的に見合う効果があがっているのかを検証すること」に関する取組み状況を説明してほしい。

○杉山広報課広聴監

パブリックコメントに係る計画等については、早い段階から積極的に意見聴取の機会を設けるよう、各部署に依頼した。方法としては、アンケート調査やガヤガヤ会議などが考えられるが、広報課と各部署が連携し、丁寧に実施していく。

○広瀬消防課長

「ありがとね！消防団水防団応援事業所制度」については、昨年11月に県内全消防団を対象に抽出

でアンケートを実施した。団員の4割が制度を利用されており、制度に好意的な意見がある一方、「制度を利用できる店舗がわからない」といったご意見をいただいた。そのため、店舗に対してはステッカー表示の働きかけを行い、団員に対しては検索サイトの周知に努めていく。さらに、引き続き応援事業所の拡大に努めていく。なお、この事業については団員確保対策と切り分け、来年度からは消防団・水防団を応援する事業として整理していく。

○長屋光征委員長

これをもって本日の委員協議会を閉会する。

総務委員会委員協議会 配席図

令和2年1月24日(金) 10:00～
議会東棟 3階 総務委員会室

--	--	--	--	--	--	--	--	--

堀 財政課 管理調整監	篠田 管財課 財産活用企画監	長井 県庁舎建設課 県庁舎建設管理監						
-------------------	----------------------	--------------------------	--	--	--	--	--	--

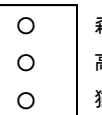
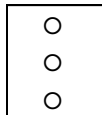
杉山 広報課 広聴監	本多 管財課 県有施設管理室長	渡辺 県庁舎建設課長	三宅 議事事務局 管理調整監	高野 総務事務 センター長	坂井 法務・情報公開課長	森島 人事課 人事管理対策監	宮前 危機管理政策課 山岳遭難・ 火山対策室長	海蔵 防災課 防災情報管理監
------------------	-----------------------	---------------	----------------------	---------------------	-----------------	----------------------	----------------------------------	----------------------

柱

長谷川 広報課長	加藤 出納管理課長	高橋 管財課長	小野 情報企画課長	布施 行政管理課長	大野 人事課長	広瀬 消防課長	岩田 防災課長	高見 防災課 兼防災対策監
-------------	--------------	------------	--------------	--------------	------------	------------	------------	---------------------

後藤 財政課長	大脇 秘書政策審議監	阿部 総務部次長(情報化 推進担当)	富田 総務部次長	横山 総務部長	西垣 危機管理部長	熊崎 危機管理部次長	西 危機管理部次長兼 岐阜地域危機管理監	渡辺 危機管理政策課長
------------	---------------	--------------------------	-------------	------------	--------------	---------------	----------------------------	----------------

小川(祐)委員
加藤委員
森(正)委員



森(治)委員
高木委員
猫田委員

